

3 文化・芸術による平和の体現

22 現代美術館特別展の開催	
目的	現代美術館設置の基本理念である「現代をみつめ、未来への展望をきりひらく」、「国際的視野をもった」美術館として、また、第二次世界大戦後の美術を主要な対象とし、「ヒロシマ」をテーマとした作品の収集や制作委託を行う美術館として、現代美術を通じて「平和」、「ヒロシマ」を広くアピールするとともに、平和の希求には、美術を含む文化の充実と豊かさが重要であることを伝える。
内容	毎年4回開催している特別展の一つとして、平成27年7月～10月に「平和」、「ヒロシマ」をテーマとした特別展を開催する。
備考	
担当局・課	市民局文化スポーツ部文化振興課(現代美術館)

23 博物館資料を活用した企画展示の開催	
目的	70年という歳月は、3世代にわたる時の重みがあり、市民の生活スタイルはもちろん個人々の地域社会との関わりも大きく変化している。今回この移り変わりにスポットをあて、収集した博物館資料を活用した展示会を開催し、郷土の歴史に触れる機会を提供することで、市民の郷土への愛着を高め、地域の活性化に貢献する。
内容	第二次世界大戦を挟んで一変した広島市のまちの様子、市民生活の変化を中心テーマに展示会を開催する。
備考	平成26年度 展示シナリオ作成、文献等調査、展示資料選定等 平成27年度 展示レイアウト作成、写真・説明等展示パネル制作等 展示会開催 開催時期 平成27年7月中旬～1か月程度 開催場所 旧日本銀行広島支店
担当局・課	市民局文化スポーツ部文化振興課

24 平和の夕べコンサートの拡充	
目的	<p>昭和 60 年から毎年開催している平和の夕べコンサートの開催により、原爆犠牲者の慰霊及び核兵器廃絶と世界恒久平和の実現という「平和への思い」の共有を促進するとともに、これまで広島市が取り組んできた音楽事業で芽生えた平和文化の継承と普及を促進する。</p> <p>第 30 回の節目を迎える被爆 70 周年には、例年のコンサートに加え、著名な指揮者を迎えて二部構成で開催することにより、音楽を通じてヒロシマの心を世界に発信する。</p>
内容	<p>第1部 広島交響楽団音楽監督 秋山和慶氏による演奏</p> <p>第2部 著名な指揮者による演奏</p>
備考	<p>第1部 平成 27 年 8 月 5 日(水) (会場:広島文化学園HBGホール)</p> <p>第2部 平成 27 年 8 月 9 日(日) (予定、会場:未定)</p>
担当局・課	市民局文化スポーツ部文化振興課

25 広島交響楽団特別事業「摂氏 4000 度からの未来」プロジェクトの実施	
目的	<p>広島交響楽団の創立 50 周年を契機に、同楽団が企画している特別事業を共同で実施し、「核兵器廃絶と世界恒久平和の実現」を願うヒロシマの心を広く国内外に発信する。</p>
内容	<p>1 作曲の委嘱 「広島レクイエム」などの作曲で知られる広島市出身の著名な作曲家の糺場富美子氏に、原爆投下時に摂氏4000度にも達した広島のみちの現在と未来に向けてエールを送る新作「摂氏4000度からの未来」の作曲を委嘱する。</p> <p>2 市民への公開 広島交響楽団による演奏会で広く市民に公開する。</p> <p>3 CD化による各国為政者等への配布 広島交響楽団演奏会において、この新作の世界初演と、同日に演奏を予定しているベートーベン交響曲第5番「運命」をあわせてライブ録音してCD化し、各国為政者や平和首長会議出席者等に贈呈する。</p>
備考	<p>平成 26 年度 作曲の委嘱、演奏会での公開及びライブ録音(平成 27 年 3 月)</p> <p>平成 27 年度 CD制作、各国為政者等への贈呈、演奏会での公開(平成 28 年 2 月)</p>
担当局・課	市民局文化スポーツ部文化振興課

26 国連合唱団コンサートの開催	
目 的	国連事務局職員で構成する合唱団によるコンサートの開催により、広島「平和への思い」の共有を促し、平和都市としての求心力の向上につなげるとともに、市民の文化力とまち全体の文化度を高める契機とする。
内 容	<p>1 主催 「日米文化交流プロジェクトin 広島」実行委員会 (構成団体:広島県合唱連盟、エリザベト音楽大学、広島市文化協会、広島県、広島市、(財)広島市未来都市創造財団ほか)</p> <p>2 内容 ニューヨークの国連事務局職員で構成する合唱団による平和と慰霊のコンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国連合唱団演奏 ・ 市民合唱団演奏 ・ ゲスト(声楽家等)演奏 ・ 国連合唱団と市内の合唱団による合同演奏 ・ 平和と希望をテーマに子どもたちから合唱曲の歌詞を募集し、ニューヨークの作曲家が作曲して発表
備 考	開催時期 平成 27 年 8 月 6 日(木)前後 会 場 広島文化学園HBGホール(予定)
担当局・課	市民局文化スポーツ部文化振興課

27 2015 こどもコーラスフェスティバルinひろしまの開催	
目 的	国内外の児童合唱団が参加する合唱大会の開催により、次世代を担う子どもたちに「平和への思い」の共有を促し、平和都市としての求心力の向上につなげるとともに、市民の文化力とまち全体の文化度を高める契機とする。
内 容	<p>1 主催 (一社)全日本合唱連盟、朝日新聞社 共催:広島市(予定)</p> <p>2 内容 国内外の児童合唱団が広島に集い、合唱を通じて平和の尊さを学び、国際理解と交流を深める。</p> <p>(1) 一日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開会式 ・ こどものためのアトリエ(参加団体で結成する合同合唱団による練習) <p>(2) 二日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平和記念資料館視察及び平和学習(被爆体験証言の聴講) ・ 平和のセレモニー(原爆の子の像に千羽鶴を捧げ、「広島平和の歌」を献歌) ・ 各団演奏、アトリエ演奏(合同合唱団による演奏) ・ 閉会式、全体合唱
備 考	開催時期 平成 27 年 8 月 1 日(土)、2 日(日)(予定) 会 場 広島文化学園HBGホール、アステールプラザ多目的スタジオ・オーケストラ等練習場(予定)
担当局・課	市民局文化スポーツ部文化振興課

28 祈りの能楽祭の開催	
目 的	日本の伝統芸能である能・狂言の鑑賞会の開催により、「平和への思い」の共有を促し、平和都市としての求心力の向上につなげるとともに、伝統芸能の活性化を図り、市民の文化力とまち全体の文化度を高める契機とする。
内 容	<p>原爆・平和を題材とした広島ゆかりの能・狂言の鑑賞会(昼夜2回公演)を開催する。</p> <p>1 演目 (1) 佐々木禎子さんを題材とした新作能「サダコ」 (2) 井伏鱒二の「黒い雨」を題材とした新作狂言「はしくれ法師」</p> <p>2 対象者 (1) 昼の部 中学生を無料招待 (2) 夜の部 一般(有料公演)</p>
備 考	<p>開催時期 平成27年8月4日(火)</p> <p>会 場 アステールプラザ能舞台(中ホール)</p>
担当局・課	市民局文化スポーツ部文化振興課

29 障害者と広島交響楽団とのジョイントコンサート(マーガレットコンサート)の拡充	
目 的	障害者の社会参加促進を目的に毎年開催している「マーガレットコンサート」について、平和との関連性を持たせることにより、障害者をはじめ全ての人にやさしい平和都市としての求心力の向上を図る。
内 容	<p>平和と関連した取組としては、以下のような取組を想定し、今後、関係者との意見交換・調整を行いながら具体化し、実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平和に関連する楽曲の演奏や合唱 ・ 開催時期を例年の1～3月頃から8月前後に変更 ・ 障害者平和宣言の採択 ・ 長崎市在住の障害者の招待
備 考	<p>平成26年度 事業内容の具体化</p> <p>平成27年度 事業実施</p>
担当局・課	健康福祉局障害福祉部障害福祉課

30 障害者ピースアート事業(仮称)の実施	
目 的	<p>平和をテーマに据え、障害者の芸術活動を支援する事業をモデル的に実施し、障害者の新たな生きがいづくりや、芸術活動を通じた経済的自立に向けた可能性の拡大につなげるとともに、障害者をはじめ全ての人にやさしい平和都市としての求心力の向上を図る。</p>
内 容	<p>以下のような取組を想定し、今後、関係者との意見交換・調整を行いながら具体化し、実施する。</p> <p>また、平成 27 年度の実施結果を踏まえ、事業の定着や事業展開の拡大を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品展の開催 ・ 作品等の販売 ・ 芸術教室の開催 ・ 障害者団体等と連携した事業運営
備 考	<p>平成 26 年度 事業内容の具体化 平成 27 年度 事業開始</p>
担当局・課	健康福祉局障害福祉部障害福祉課

4 復興したまちの魅力の再発見と更なる発展

31 「 <small>とお ごさいれい みこし</small> 広島通り御祭礼神輿行事」の復活・継承	
目的	<p>「通り御祭礼」は、広島東照宮の祭礼における神輿行列として、徳川家康の 50 年忌にあたる寛文 6 年(1666 年)に始まり、以来 50 年ごとに行われていたもので、当初、広島藩側で行う官祭としての性格が色濃かったが、次第に町民が行列に参加するようになりイベント化が進むなど、広島城下における都市祭礼としての性格を備えるようになった。</p> <p>しかしながら、文化 12 年(1815 年)以降、慶応元年(1865 年)は長州戦争、大正 4 年(1915 年)は第一次世界大戦、昭和 40 年(1965 年)は原爆被害の復興途上のため、神輿行列は行われていない。</p> <p>戦争や原爆被害のために 200 年途絶えた神輿行列を、しきたりに従って昭和 40 年(1965 年)の 50 年後にあたる平成 27 年(2015 年)に復元・復活させることにより、広島固有の伝統文化の継承を図る。</p>
内容	<p>神輿行列の復元・復活に際し、実施母体となる経済人、学識経験者及び地域住民等が参画する「通り御祭礼実行委員会(仮称)」に対し、広島固有の伝統文化の継承を図る観点から指導・助言を行う。</p>
備考	<p>開催時期 平成 27 年 10 月 10 日(土)</p> <p>場 所 広島東照宮～饒津神社(予定)</p>
担当局・課	市民局文化スポーツ部文化振興課文化財担当

32 復興の都市計画についての企画展の開催	
目的	<p>被爆から 70 年が経過し、市民の間で復興の記憶が薄れつつある一方で、東日本大震災を契機として、都市の復興が注目を集めており、広島復興の過程を次世代に劣化させることなく継承していくことの必要性が、以前にも増して高まっている。</p> <p>このため、復興の都市計画について市民目線で紹介する企画展の開催により、広島市を平和記念都市として建設する理念及び意義についての市民の理解の促進と、復興の歴史の継承を図る。</p>
内容	<p>広島復興において広島平和記念都市建設法と都市計画が果たした役割を紹介する企画展(パネル展示等)を開催する。</p> <p>企画展の展示内容については、復興の過程における市民の関わりや、平和記念都市として復興する過程で整備された都市基盤が今日の市民生活の基礎となっていることなどにも触れ、市民の理解がより深まるようなものとする。</p>
備考	平成 27 年度 企画展開催
担当局・課	都市整備局都市計画課

33 広島県の誇りある景観まちづくりプロジェクトの実施	
目的	<p>被爆による廃墟からの復興の過程で整備された平和記念公園や平和大通り、河岸緑地などは、広島固有の景観を形成するものとして、大きな役割を果たしている。また、原爆ドーム、原爆死没者慰霊碑、平和記念資料館は平和記念公園の設計理念の柱として、南北一直線上に配置されており、この軸線を見通す景観は、本市の都市づくりの基軸の一つとして特に重要である。</p> <p>こうした都市資源を再認識し、後世に確実に継承していくとともに、将来に向けた「広島らしさ」を感じるまちづくりにつなげる。</p>
内容	<p>1 都市軸の銘板等設置 平和記念資料館の再整備に合わせて、南北軸を見通す景観の主要な視点場である資料館本館下床面に、南北軸の存在を広く周知するための表示を行うとともに、その付近に説明板を設置する。中工場についても、同様の趣旨で説明板を設置する。</p> <p>2 写真集の作成 被爆後の広島姿(景観)を10年の節目ごとに記録にとどめるとともに、広島城築城以来の歴史・伝統の視点から再整理し、平和や歴史・文化、水と緑、にぎわい、おもてなしの観点から広島市の景観をとらえた写真集を作成する。また、写真の画像をデジタル化して活用する。</p>
備考	<p>1 都市軸の銘板等設置 平成29年度 銘板・説明板の設置</p> <p>2 写真集の作成 平成27年度 原案作成、原稿執筆等 平成28年度 写真撮影、レイアウト、写真集の印刷・製本(画像のデジタル化)等</p>
担当局・課	都市整備局都市計画課都市デザイン担当

34 全国花のまちづくり広島大会の開催	
目的	<p>花と緑あふれる美しいまちの実現は、地域に誇りと愛着を持つ市民・企業の自主的活動とそれを支える行政の取組が組み合わさって可能となる。</p> <p>市民の花と緑のまちづくりに対する意識醸成を図るとともに、市民・企業等との協働による取組をさらに進める契機とするため、全国花のまちづくり地方大会[*]を誘致・開催する。</p> <p>※ 全国花のまちづくり地方大会 全国的な花のまちづくりの普及を目的として、毎年、春の都市緑化推進運動期間(4月1日～6月30日)中の2日間、開催地の地方公共団体と花のまちづくりコンクール推進協議会(事務局:(公財)日本花の会)との共催で開催されている。</p>
内容	<p>本市が事務局となり、地域団体の代表者等及び(公財)日本花の会からなる実行委員会を組織し、大会の企画、準備、運営に当たる。</p> <p>大会では、花のまちづくりに取り組んでいる地域団体や、全国花のまちづくりコンクール[*]の入賞者による事例発表、基調講演、大会参加者による交流会、現地見学会などを実施する。</p> <p>※ 全国花のまちづくりコンクール 花のまちづくりを国民的な市民運動として普及、定着させるために、全国各地で取り組まれている花や緑による優秀な活動を顕彰し、広く紹介するものとして実施されている。</p>
備考	<p>平成26年度 実行委員会の設立、大会プログラム等の企画、PR活動等 平成27年度 大会開催(平成27年4月1日～6月30日の間の2日間)</p>
担当局・課	都市整備局緑化推進部緑政課花と緑の施策担当

35 猿猴橋復元事業の実施	
目 的	<p>被爆橋の一つである猿猴橋には、大正 15 年に現在のコンクリート橋に架け替えられた際、電飾や鋳物の透かし彫りなど豪華な装飾が施されていたが、昭和 18 年、戦時下の金属資源不足のため発せられた金属類回収令により、これらの装飾品が全て供出された。また、昭和 20 年の原子爆弾投下では、欄干の一部が破損する被害を受けたものの、構造的な被害はわずかにとどまり、被災者の避難や救援活動に使われ、多くの命をつなぐ役割を担った。</p> <p>現在、広島復興を見届けてきた猿猴橋の一部を復元し、後世に伝えようと地元で募金活動が行われていることから、その取組と連携して、市民と公共の協働によるまちづくりを行うとともに、JR 広島駅周辺において進められている再開発事業や河岸緑地整備などと併せ、来訪者に新たな都市の魅力を発信する。</p>
内 容	<p>猿猴橋の諸元 橋長:62.5m、有効幅員:8.2m、形式:5 径間 RCT 桁・壁式橋脚</p> <p>復元内容 設置:親柱 4 基・照明柱 8 基、取替え:高欄 40 箇所</p>
備 考	<p>平成 26 年度 設計 平成 27 年度 工事</p>
担当局・課	道路交通局道路部道路課

まちづくり先導事業

まちづくり先導事業(骨子)

被爆 70 周年を契機に、被爆 100 周年を見据えて目指すべきまちの姿の骨格を示し、その実現に資する事業を「まちづくり先導事業」として位置付け、まちづくりの新たな一步を踏み出す。

目指すべき「世界に誇れる『まち』」の姿の骨格

都市構造

- 広島市は従来、三角州(デルタ)の街と呼ばれ、その中で様々な機能が完結していた。
- しかしながら、周辺町村との合併により市域が大幅に拡大し、山間部から丘陵部、平地、島しょ部など、様々な地勢を有する都市となり、地域ごとに機能を分担し合いながら発展してきた。
- 「世界に誇れる『まち』」を実現するに当たっては、地域ごとの機能や特色を再確認しつつ、それらに磨きをかけるとともに、地域間の交流・連携を深めていくことが肝要である。

三つのエリアの設定

- こうした地域を、右図のように、「デルタ市街地」と、それを取り囲むように開発された「デルタ周辺部」、さらにその外側にある「中山間地・島しょ部」の三つのエリアに設定する。

＜デルタ市街地＞

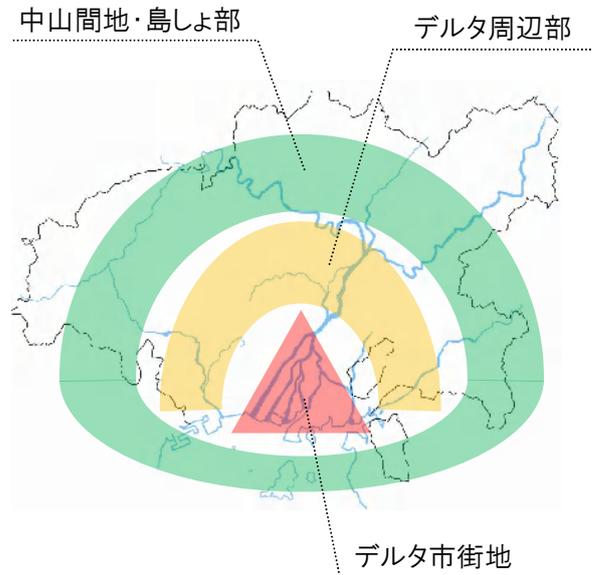
高次の都市機能が集積し、活発な経済活動が展開されるエリア

＜デルタ周辺部＞

居住の場として市民の生活を支えるエリア

＜中山間地・島しょ部＞

市民が日常的に触れ合える豊かな自然が広がるエリア



まち全体の発展

- エリアごとの機能や特色が最大限に発揮され、それぞれのエリアが公共交通を中心とした交通ネットワークにより結び付くことで、ヒト・モノ・カネの好循環を創出するとともに、都市的魅力と自然的魅力の双方を一体的に体感できるコンパクトなまちが形成される。
- こうしたまちでは、協働による活性化策や高齢者を支え合う仕組みが定着し、子どもから高齢者まで誰もが安全や安心、ゆとり、豊かさを享受し、まちに愛着と誇りを持って、健やかに生き生きと生活することができる。

まちづくり先導事業の例示

まちづくり先導事業については、現時点で考えられるものを別表に例示している。

今後、市民からの提案等を参考にしながら更に検討を深め、平成 26 年度中に事業の全容を確定させる。

まちづくり先導事業《例示》

1 平和都市としての求心力の向上
<p>デルタ市街地を中心に事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島平和記念資料館の再整備などによる平和記念公園の拠点性強化 ・ 広島への復興した姿と平和への思いを未来に伝える空間づくり <p style="text-align: right;">など</p>
2 ヒト・モノ・カネを呼び込む都市の魅力の創造
<p>(1) デルタ市街地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島駅周辺地区における交通結節機能の強化と都市機能の増進 ・ 旧広島市民球場跡地の若者を中心としたにぎわいの場としての活用 ・ 広島大学本部跡地の有効活用による「知の拠点」の再生 ・ 「水の都ひろしま」にふさわしい美しい川づくり <p style="text-align: right;">など</p>
<p>(2) デルタ周辺部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西風新都における「住む・働く・学ぶ・憩う・護る」という複合機能の強化 ・ デルタ市街地とのアクセス機能の強化 <p style="text-align: right;">など</p>
<p>(3) 中山間地・島しょ部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 似島や湯来地区などでの地域の魅力の発掘・活用 <p style="text-align: right;">など</p>
3 心通い合う地域コミュニティの形成
<p>デルタ周辺部を中心に事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅団地の活性化に向けた総合的な対策の実施 ・ 高齢者の多様な働き方を推進するためのモデル事業の実施 ・ 地域コミュニティのための新たな拠点づくり <p style="text-align: right;">など</p>

(参考)

被爆 70 周年記念事業のアイデア募集結果

被爆 70 周年記念事業のアイデア募集結果

アイデア数 219件
応募者総数 105人・16団体

※1 1人又は1団体から複数のアイデアが提案されている場合は、内容ごとに分類してアイデア数を計上している。

※2 応募者総数には、匿名の4人を含む。

1 募集期間:平成 25 年 7 月 15 日～8 月 15 日 1か月間

2 アイデアの内訳

区 分	内 訳	件 数
式典・会議・イベント 94件	式典	3
	会議	8
	イベント(展示)	22
	イベント(音楽)	15
	イベント(スポーツ)	10
	イベント(平和を語る)	7
	イベント(その他)	16
	コンテスト	6
	ライトアップ	4
	プロジェクションマッピング	3
施設等整備 36件	建設(産業奨励館)	7
	建設(モニュメント)	7
	建設(アーチ)	2
	建設(タワー)	2
	建設(その他)	11
	整備(道路)	5
	整備(その他)	2
出版物・映像作品等制作 25件	制作(書籍)	5
	制作(映像)	8
	制作(楽曲)	4
	制作(その他)	8
その他 64件	平和推進の取組	49
	活用(被爆建物等)	4
	活用(その他)	3
	その他	8
合 計		219

3 応募者の内訳

(1) 属性

区 分	個 人	団 体	市職員	不 明	計
アイデア数 (件)	75	46	93	5	219
構 成 比 (%)	34.2	21.0	42.5	2.3	100
応募者数 (人・団体)	44	16	57	4	121
構 成 比 (%)	36.4	13.2	47.1	3.3	100

(2) 住所・所在地(個人 44 人及び 16 団体の内訳)

区 分	市 内	本市を除く県内	県 外	計
個 人 (人)	32	5	7	44
構 成 比 (%)	72.7	11.4	15.9	100
団 体 (団体)	13	2	1	16
構 成 比 (%)	81.3	12.5	6.3	100

※端数処理のため、区分ごとの構成比を合計しても 100%にはならない。

(3) 年齢(個人 44 人の内訳)

区 分	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	不明	計
個 人 (人)	0	4	3	10	10	10	6	1	44
構 成 比 (%)	0.0	9.1	6.8	22.7	22.7	22.7	13.6	2.3	100

※端数処理のため、区分ごとの構成比を合計しても 100%にはならない。